

# 光市医師会報

平成 16 年 6 月号

No. 363



撮影 河村康明

浜昼顔（室積海岸）



光市医師会

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

## いいたい放談

## 似たもの同士

松村医院 松村 壽太郎

どこかの首相が「人生いろいろ、会社もいろいろ」と答弁して話題になっている。まさに人間いろいろである。ヒトの体についてもわからないことだらけである。医者にはヒトの体のことなら、何でも知っているのではないかと思うかもしれないが、実はそうではない。心臓がどこにあって、肝臓がどこにあって、それぞれどんな働きをしているかについては、なるほど普通の人よりはよく知っているかもしれない。しかし、細部に至ればまだまだわからないことだらけである。

医学的にみて解明されていない人体の複雑さはよしとしても、身体を持つ不思議さの一つに、身体の醸し出す雰囲気なるものがある。これについては、近年やっと研究が緒についたばかりである。

一言も語らないのに、その人がそこにいるだけで、その場の雰囲気を明るくしてしまう人、暖かみを感じさせる人、ガサガサ落ち着きがない人、威圧的な人、など数え上げたらきりがない。顔付きや、からだ全体の仕草なども雰囲気を醸し出すのに一役買っている。そのいろいろな雰囲気を持った人と人とが関係し合って、この世は成り立っている。よく誰それと誰それとは波長が合うとか、合わないとか言う。あるいは相性が良いとか悪いとか言う。

俗に似た者夫婦というが、結婚してから二人が似通ってくるのではなく、結婚前に知らず知らずのうちに、似た者を選択しているだけなのかも知れない。選ぶ時に、身体の醸し出す、言葉には言い表わせない雰囲気を感じ取っているのだらう。

一方、どうしても馬が合わない人間関係というものもどこにも見られる。当人同士はそれぞれ別個に、一人の人間としてみれば特に問題はないのに、どういうわけか二人を一緒にするとうまくいかないという例は案外多い。

医者も人間である。一人一人にはカラーがあり、雰囲気がある。優しいお医者さん、こわいお医者さん、怒りっぽいお医者さん、あまり語らないお医者さん、威張っているお医者さん、落ち着きのないお医者さん、などいろいろである。患者さんの方も様々な人がいるわけで、いろいろな医者と、様々な患者さんとが一緒になって、俗にいう医者－患者関係が成立する。時と場合によっては、お互い相手を選ぶことができない。

救急車で運ばれる時などは、最寄りの医療機関に連れていかれてしまうこともあるし、医者の方も、いかなる理由があろうとも受診した患者さんを診ないわけにはいかない。

通常の外来診療では、患者さん側に医者を選ぶ権利がある。何回か通院して波長が合わなければ、別の医者に変更することができる。医者の方にはその選択権はなく、自然に去って行くのを待つより外ない。夫婦と違って、いやになったから別れるというわけにはいかないのである。

よく似たもので、多くの場合ある医者に通う患者さんの多くは、その医者と波長が合う人が残っているようだ。似た者夫婦と同じようなところがある。確かに、穏やかな医者の周りには温厚な患者さんがついてるようだし、せわしない医者には長年診てもらっていると、いつの間にか気忙しい感じがしてくるようである。それで、年季の入った看護師の言を借りれば、言い方はよくないが「飼い主に似るのよ」ということになる。

世間ではよく医者－患者関係がどうのこうの、という議論をすることがあるが、お互いの雰囲気

が合わない二人がいくら頑張ってもそこには自ずと限界がある。どんなに頑張っても、どの患者さんにもよいというような八方美人的なお医者さんを目指すことは、どの医者にとっても無理なはずで、これは仕方がないことであろう。

ある患者さんにとって名医と映ったお医者さんも、波長の合わない別の患者からはボロクソに言われることがある。看護師さんの観察の鋭さには、なるほどと感心する次第である。



### 今月の医師会長

- 8日(火) 松田先生(参議院選挙医師連盟西日本地区担当) 来院  
定例理事会
- 10日(木) 地域医療支援病院審議委員会(周南)
- 13日(日) 山口県医学会総会(下松)
- 16日(水) 日本老年医学会(幕張)
- 17日(木) 三井小内科健診  
介護認定審査会
- 19日(土) 都市医師会会長会議(山口)
- 22日(火) 月例会及び学術講演会
- 24日(木) 光市学校保健委員会  
周東地域産業保健センター運営協議会

### 6月の医師会活動

- |                          |             |
|--------------------------|-------------|
| I 8(火) 定例理事会             | 医師会事務局      |
| II 22(火) 6月度医師会月例会&学術講演会 | 光商工会館2階大会議室 |

### I 光市医師会定例理事会

日時：平成16年6月8日(火)  
午後7時30分より  
場所：医師会事務局  
出席者：河村・松村・光武・山本・兼清・佃・平岡・丸岩・道上

議題：

#### I 報告事項

1. 周南地区結核対策委員会(5/18)  
(平岡理事)
2. 都市医師会保険担当理事協議会(5/20)  
(兼清理事)
3. 光市社会福祉協議会評議員会(5/21)  
(河村会長)
4. 都市医師会会長会議(5/27)(河村会長)
5. 光市民憲章推進協議会総会(5/31)  
(河村会長)

6. 介護支援センター運営委員会(6/3)  
(丸岩理事)
7. 日本医師連盟若手会員研修会に参加して  
(兼清理事)

### II 協議・承認事項

1. 納涼懇親会について(丸岩理事)  
7/21 於：シエロ・ディマーレ  
(旧ニューチャンピア)
2. 高塚人志講演会について(河村会長)  
予定：7/30、19:00～21:00  
医師会員対象、於) 勤労福祉会館  
7/31、AM：高校生対象  
PM：病医院職員対象  
(接遇)
3. 平成16年度学術講演会年間予定表(案)  
(山本理事)

### I-1. 周南地区結核対策委員会 (5/18) (平岡理事)

第1回周南地区結核対策委員会

周南健康福祉センター

平成16年5月18日

平成16年度児童生徒の結核検診の実施について、話し合いがもたれた。基本的には昨年から始まった、問診による検診を今年度も引き続き行うことで、合意が得られた。

平成15年度要検討者の状況は、以下のごとくであった。

	小学校	中学校
周南地区	0.35%	0.21%
山口県	1.48%	1.09%
全国	1.75%	1.50%

周南地区要検討者では結核発病者0人、予防内服者0人であった。以上の結果周南地区では、要検討者の絞り込みが大変効率よく、しかも適切に行われているとの結論であった。

問診による結核検診は、その手間と仕事量において、これまでのツ反による検診とは比べものにならないほど学校医、養護教諭、の負担を増やした。しかし、不必要な予防投与や、精検を減らした功績は大きい。

発症率の低さから考えて、今後児童の学校における結核検診は、廃止される方向が望ましい。しかし、海外居住者の増加していることもあって、まだしばらくは、データの蓄積が必要である。

問診時は、咳が継続していたが、検診時は治まっているような児童は校医の判断で積極的に検討者から除外していただきたい。また、直ちに受診が必要と思われる児童は、教育委員会に連絡した後、積極的に個別に外来受診を指導していただきたい。といった意見が、検診委員の間で交わされた。

各小学校、中学校の校医をなさっている先生方には大変ご迷惑と存じますが、今年もよろしくお願いいたします。

### I-2. 郡市医師会保険担当理事協議会(5/20) (兼清理事)

郡市保険担当理事協議会

平成16年5月20日(木)

午後3時～5時

開会のことば

会長挨拶

議 事

1. 平成16年度山口県社会保険医療担当者指導計画について
2. 平成16年度生活保護法に基づく指定医療機関の個別指導について
3. 15年度第2回保険委員会の報告(2月19日)
4. 15年度第2・3回社保国保審査委員連絡委員会の報告(12月11日・3月18日)
5. 医療保険関係団体九者連絡協議会の報告(2月17日)
6. 郡市医師会からの意見及び要望
7. その他

閉会のことば

(内容)

集団指導の対象期間 レセプト番号下一桁が偶数のもの

日程はまだ未定 平成17年1月 2月

山口市

新規指定保険医療機関 平成16年10月24日

山口市

個別指導 徳山地区 平成16年10月14日

(木)

類型区分別 平均点数一覧表

### I-4. 郡市医師会長会議 (5/27)

郡市医師会長会議

日時：平成16年度5月27日(木)

16:00～19:00

場所：山口県医師会 会議室

1. 都道府県医師会長協議会報告

- (1) 中医協見直しについて
  - (2) 准看養成に関して
  - 2. 中国四国医師会連合総会分科会報告
    - 介護保険
      - ①介護保険と障害者の統合
      - ②介護保険制度の見直しについて
    - 医療保険
      - ①保険指導医に医師会役員が就任することについて
      - ②診療報酬改定の定点調査について
    - 地域医療
      - ①新医師臨床研修制度について
      - ②ドクターバンクの現況
      - ③学校医認定制度について
      - ④乳癌検診について
- 山口県医師互助会支部長会議  
山福株主総会  
医師連盟執行委員会

- 場 所 パレスホテル 地下1階  
          ゴールデンルーム
- 司 会 日本医師連盟常任執行委員  
          野 中 博  
          次 第
- I. 開会挨拶  
      日本医師連盟 副委員長 櫻井秀也
  - II. 委員長挨拶  
      日本医師連盟 委員長 植松治雄
  - III. 議 題
    - 1. 医療制度抜本改革の現状と展望  
      参議院議員・日本医師連盟  
          副委員長 宮崎秀樹  
      参議院議員 武見敬三
    - 2. 挨 拶 日本医師連盟 常任執行委員  
          西島英利
    - 3. 討 議
  - IV. 閉会挨拶  
      日本医師連盟 副委員長 寺岡 暉

I - 5. 光市民憲章推進協議会総会 (5/31)

(河村会長)

平成 16 年度 光市民憲章推進協議会総会

日時：平成 16 年 5 月 31 日

18：00～20：00

光市教育委員会

- 1. 平成 15 年度決算 及 事業報告
- 2. 平成 16 年度予算案 及 事業計画
- 3. 平成 15 年度実践指定校報告
- 4. 合併後の市民憲章？
- 5. 講演「私の生涯学習～

NPO活動から学ぶ～」

光市生涯学習推進サポーター

福森 宏昌

I - 7. 日本医師連盟若手会員研修会に参加して

(兼清理事)

日本医師連盟若手会員研修会

日 時 平成 16 年 6 月 6 日 (日)

13 時～14 時 30 分

II - 3. 平成 16 年度学術講演会年間予定表 (案)

(山本理事)

平成 16 年度学術講演会年間予定表 (案)

- (1) 4 月 27 日 (第 4 火)：『医療現場における新しい殺菌法』－オゾンの有用性と安全性  
      石川島播磨重工業 環境機器代理部  
      次長：本間二郎 先生
- (2) 5 月 25 日 (第 4 火)：光市立病院よりの症例提示と検討会：外科、内科、整形外科 etc
- (3) 6 月 22 日：山口メデイコム『電子カルテの実習 プロジェクター説明 30 分、実物 3 セット 0834 - 26 - 2511 萬有製薬：A T 2 についてデイベート 30 分
- (4) 7 月 27 日 (第 4 火)：『感染症関連 第 1 製薬 講師 山陽病院 竹山先生 8 月に症例検討会
- (5) 8 月 24 日 (第 4 火)：『脳卒中の一次-

- 2次予防 大塚製薬  
熊本市民 脳外科：橋本洋一郎
- (6) 9月28日(第4火)：『A R Bに関連した  
高血圧と心臓病』  
三共製薬：国立循環器病センター：  
部長：北風政史 先生
- (7) 10月26日：『高血圧関連』ノバルティ  
ス 講師 未定：〇〇
- (8) 11月23日：旗日⇒30日『メンタル関係』  
住友製薬 講師 未定：〇〇  
『抗血小板療法 ?』講師 未定：
- (9) 12月21日(第3火)：光市立病院と大  
和病院と開業医師の合同症例検討会
- (10) 1月25日(第4火)
- (11) 2月22日(第4火)
- (12) 3月22日(第4火)

## II 6月度医師会月例会 & 学術講演会

日時：平成16年6月22日(火) 19:00～21:00

場所：光商工会館2階大会議室

### 〈学術講演会〉

- 1 アンジオテンシンⅡについて  
7:00～7:30pm 万有製薬(株)
- 2 電子カルテの実習  
7:30～8:30pm 山口メディコム(株)

### 〈学術講演会〉 8:30～9:00pm

#### ☆米澤文雄先生退会のご挨拶

昭和50年から19年の長きに亘って、光市立病院内科にご勤務された米澤先生は、7月から萩市民病院に移られることになりました。単身赴任とのこと。また当地で、萩のよもやま話をお聞きできることと思います。



- 1 保険指導について(兼清理事)
- 2 参議院選挙について(兼清理事)

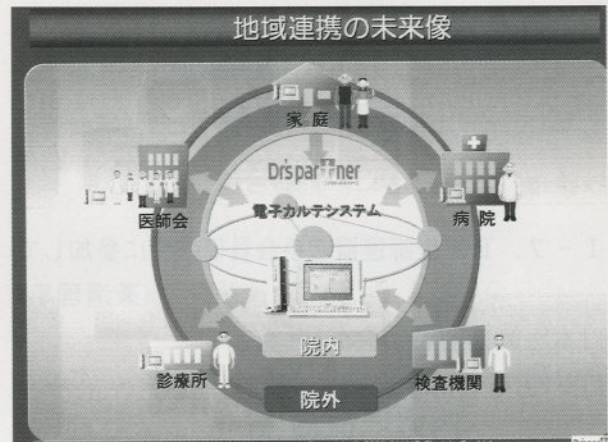
### 電子カルテの実施(山口メディコム(株))

厚生労働省が唱えている電子カルテは本当に普及するのでしょうか？  
遅々としてですが、将来はその方向になるでしょう。ただ、現時点ですぐに導入というのは…二の足を踏んでいます。

## 電子カルテの現状と今後

平成16年6月22日

山口メディコム株式会社  
三洋電機株式会社





5月休日当番医報告

(於：光市あいぱーく)

		内科系	外科系
6/6	日	26	12
13	日	10	12
20	日	22	4
27	日	12	3



ホームページだより

いつもありがとうございます。下記がホームページのアドレスです。

<http://www.yamaguchi.med.or.jp/users/hikarishi/isikaihp/hikari.htm>

これは手に入れるととっても面倒です。普通はメールなんかで取り込んで、コピーアンドペースト(C & Pと略)でアドレスを貼り付けて到達します。

一回到達したら、お気に入りに登録して、次回からはそれから行くことができます。また、Microsoft Internet Explorer (MIEと略)では履歴があってそのボタンを押すと最近訪れた場所を表示してくれます。それから行ってもいいです。

今日はそのC & Pの手法を説明しましょう。コピーとはctrl + c (ctrl ボタンを押しながらC ボタンを押すこと) のことでまずコピーする対象を指定します。文字を指定する時その場所の最初のところから左クリックを押したままドラッグ (押したままずらすこと) すると色が黒く変わります。その黒いところが対象となります。目的の場所が黒く変わったら ctrl + c して今度は貼り付けるところを指定します。目的の場所が点滅していることを確認してから ctrl + v (これをペースト貼り付けるといいます) してください。目的の文字が貼り付けられたでしょうか? この手法はこれ以外にもとっても広い範囲に使うことができます。例えば画像とか動画、プログラムなど、いろんなものをメモリーに取り込んで場所を移すことができます。是非、習得してください。

(佃 理事)



## リレー随筆

## 故郷に帰って来て

光市立病院外科

竹中博昭

昨年（平成15年）4月に山口大学第一外科講師の職を辞し、光市立病院外科医長として赴任させていただきあつという間に1年数ヶ月が過ぎました。中学卒業の15歳まで光市で生まれ育ちましたが、その後高校と受験浪人のため広島で4年間、次いで松山で大学生活6年間を過ごしました。愛媛大学医学部卒業後直ちに山口大学第一外科に入局し、その後は大阪1年、徳山2年、米国留学2年の出張以外は主として宇部市に在住し17年間を過ごし、昨年42歳の時に帰って来ました。大学医局での仕事は刺激的で楽しい面がある一方で、多忙を極め毎日遅く帰宅、土日ほとんど仕事という状態であったため40歳になった頃からそんな生活にもいつか区切りを付けようと思っていました。その折、平成15年の年明けに第一外科の先輩で恩師でもある守田信義先生が光市立病院に院長として赴任されるという話がでて、私に外科部長として4月から行かないかというお誘いがあり急転直下話がまとまった次第です。光市で15年、他所で27年生活して人生の三分の二は故郷以外で過ごして来た訳ですが、子供時代の15年の方が長く感じ、思い出も多いのは不思議な感じがします。

こちらに帰って来てからの生活ですが、旅に例えるなら赴任前がジェット機で慌ただしく飛び回る毎日だとすると、現在は景色を眺めながらのんびり船旅といったところですよ。夜も7-8時には帰宅できることが多く、当番でなければ日曜日にも休めるので家族との時間も以前より多くとれることが何より嬉しく思っています。仕事の面でも光市医師会員の皆様より多大なご助力をいただき手術症例数もどんどん増えており、心より感謝申し上げます。

さて、毎日の診療で故郷ならではと感じるのはいわゆる“親の七光り”です。光市医師会員の皆様はご存知かもしれませんが、私の父親は昭和36年より室積で開業医をしております。光市立病院に赴任した際に医師会の主な先生がたにご挨拶に回りましたが、この際も「竹中先生の息子さんかね？」から始まり暖かいお言葉をかけていただくことが多かったと記憶してお

ります。また、私が診療する患者さんから「お父さんにはお世話になりました。」「うちの子、お家で産んだのよ！」と言われることがしばしばです。初対面でも何となく相手がこちらに好意をもってくれる、信頼してもらえることが多いという点で大変助かっています。故郷以外の地に赴任した場合にはこのようにすんなりいかず、地域に馴染むのに時間を要したことでしょう。しかし良いことばかりではありません。外科患者の病棟回診中に面識の無い方（他科の患者家族）に呼び止められ、「お父さんをよう知っとるよ。ヒロ君、うちの（病人）はどんな具合かね？」と言われても、他科患者の病状は把握しておらず、把握していたとしても主治医に無断で説明できるはずもなく、ヘラヘラ笑って誤摩化すしかないのです。この程度ならご愛嬌ですが、私の両親の知り合いということでもちょっとした特別扱いを求められ困惑する場合があります。とはいえ、私にとって“親の七光り”は功が8割、罪が2割といったところで追い風になっているのは間違いないことです。しばらくは七光りを利用させてもらい、おいおい自分自身の実力（評判）で患者さんが集まるようにしなければと思います。このためには市内の先生のご助力なしには不可能ですので今後とも宜しくお願いいたします。また、最近病診連携を強力に進めたいと考え、症状の安定した外来の通院患者さんはできるだけ近くの開業医の先生に診療、投薬をお願いし、変わったことがあればすぐに紹介していただくということで患者さんに説明することが多くなっています。お手数ですが、光市立病院外科から患者さんが紹介状をもって先生方のクリニックを受診された場合は宜しくお願いいたします。





## リレー随筆

## フットボール

田村医院

副院長 田村 健司

エム先生から午後二時に電話があり、診療中であつたのでやむを得ず原稿の依頼を引き受けてしまい憂鬱のおもいでキーボードを叩いている。

高校時から突如作文が嫌いになり、その後大学病院で上司からの簡単な原稿の推敲依頼に吐き気がするほどに苦しんでいた。やっとそれから開放され、これぞ開業医の特権だと自由を謳歌していたところであつた。参考にと医師会報を読むとその解り易さから諸先生方の文章力に驚くばかりであり、また先生方の趣味の広さに気後れする。何を書こうかと思い悩んだ結果、大学時代にかじったフットボール（サッカー）について書こうと決めた。

だいたい集団競技というものが苦手であつたのに何を思つてか大学入学すると即座にフットボール部に入部した。サークルみたいにお気軽に楽しめると思っていたが完全に勘違いでありガチガチな体育会系であつた。驚いたことにチームメートには県代表が数人いたため、わがチームは高校生の大阪大会準優勝チームとの練習試合で勝つなどなかなかの強豪であつたが、私はといえば試合中に頸椎骨折で左上腕神経麻痺の診断を受け入院し約一ヶ月首の持続牽引というおまけまでもらつた。その後チームはさらに強くなり西医体や全医体で金銀銅メダルを獲得するほどで、練習後の飲み会行事のなかで縦社会が骨のずいまでに染み付いてしまった。

当時はまさにJリーグが誕生するときであり、サッカーバブル？というものが押し寄せていた。私たちのチームは関西のフットボール連盟に所属していたので（もちろん三部リーグであつたが）たびたび実業団の試合観戦に連盟からの頭数合わせの依頼とフットボールの勉強を兼ねて試合見学に出掛けていた。そのチケットは大体が無料かそれでも五百円程度だったと記憶している。大きな会場には僅か数十人の観戦者と寂しいもので、そのほとんどが選手の彼女や家族のような状況であり応援合戦や応援旗も無く、まるで中学生時代の運動会の様な和やかな雰囲気であつた。その後はそれら実業団は名前をセレッソやガンバに架け替え、とたんに観客は溢れチケット争奪戦にて入場料は一時期最高で数

万円に高騰するなど、過去を知るものとして本当にバカバカしくなるともやり切れない思いであつた。

それはさておきフットボールは観れば観るほどにやればやるほどに奥が深く、どっぷりとはまってしまう、とうとう友人をイタリアまで誘い当時セリエAで一番人気のユベントスとACミランの試合を観戦しに行くほどであつた。イタリアワールドカップの後であつたがチケットは入手困難で、ダフ屋からチケットを購入し3階席であつたが約5000円程度と記憶する。サッカーのレベルやスタジアムのスケールの違いは当然であるが、それよりも今でも思い出すのは応援合戦の白熱さであり、彼らの生き生きとした表情が思い起こされる。イタリア人だけではなく外国人のその熱狂ぶりの桁外れさに日本人は度肝抜かれるはずである。とにかく彼らはグラウンドのプレーの一挙手一同に興奮し、その興奮は周りにそしてスタジアム全体へと共鳴しあうのである。手をかざして口からは唾や泡を飛ばし絶叫しながら隣人と手で叩きあう。フットボール専用競技場に約七万人の観戦者がつめかけ、それら全員が右手を挙手し応援チーム名を連呼しながらジャンプする様子を想像して欲しい。スタジアムは観客よる熱気と発煙筒による煙がたちこめ霞んでグラウンドは見え、全員よるジャンプによりスタジアムが縦ゆれし、いやはやその凄さは言葉で表現できないものである。是非とも海外に行かれた際には一度はじかにスタジアムでフットボール観戦することをお奨めする。

一昨年の日本でのワールドカップの試合のチケットは気合と根性で入手し、仕事を済ませてから日帰りで大分まで観戦しに行ってきた。チュニジア、ベルギーなど遠くの外国からも大勢応援に来ており、そこはイタリアの時と同じく激しく賑やかであり、さらに彼らに感化されたかのように日本人の応援も楽しいものであつた。2006年のドイツワールドカップ観戦を熱望しているが、おそらくテレビの前で座って旗を振っていることであろう。もし医師会の先生の中で観戦にいかれる方がおられましたら土産話を期待しております。

県の行事予定（7月）

月日	曜日	県医師会行事・同関連行事	備考
6月 21日	月	山口県心臓疾患対策協議会理事会・総会 「ホテルみやげ」 (18:00)	濱本
		山口県歯科医師会との懇談会 (19:00)	藤原 上田 田中
22日	火		
23日	水	国保連合会電算共同処理研修会「国保連合会」 (13:30)	
		支払基金幹事会「基金」 (14:00)	藤原
		山口県地方社会保険医療協議会 「ホールサムインやまぐち」 (15:30)	藤原
23~24日	水	全協事務長研修会「箱根」	事務局長
24日	木	参議院議員候補岸のぶお出陣式 (9:00)	事務局長
		山口県国保連合会介護給付費審査委員会 (13:30)	佐々木
		医事紛争対策委員会 (15:00)	
		介護保険対策委員会 (15:00)	
		学校保険問題対策委員会 (15:00)	
		医療廃棄物三者協議会 (15:00)	
		健康やまぐち21「こころの健康づくり」分科会 「県庁」 (15:40)	田中
		第4回理事会	
25日	金		
26日	土	第29回中国ブロック柔道整復学会前夜祭 「シーモールパレス」 (18:00)	藤原
27日	日	第29回中国ブロック柔道整復学会「海峡メッセ」 (9:00)	
		がん予防県民講座（新がん）「シーモールホール」 (12:00)	
		小児救急電話相談事業研修会「県医」 (13:30)	木下 佐々木
28日	月	山口県健康福祉財団理事会「健康づくりセンター」 (13:30)	
		第66回国体山口県準備委員会第4回総会 「ニュータナカ」 (13:30)	事務局長
29日	火	山口県高齢者保健福祉推進会議「県庁」 (13:30)	木下
		2004年総合防災訓練in山口打合会（県庁） (13:30)	
		労災診療委員会「合同庁舎」 (15:00)	
30日	水	山口大学教育研究後援財団理事会 (11:00)	事務局長
		山口県精神保健福祉協会理事会「翠山荘」 (13:30)	上田
7月 1日	木	医事紛争対策委員会	
		医師国保組合監事会	
		編集委員会	
		山口県内科医会役員	
		第5回理事会	
2日	金	中国地方国保協議会事務担当者研究協議会「広島」	
3日	土	がん予防県民講座（消化器がん） 「長門市中央公民館」 (9:00)	
4日	日	医師会立看護学校対抗バレーボール大会 「山口県スポーツ文化センター」 (9:00)	西村
		第64回山口県臨床科学会・ 第50回山口県防災医学会「岩国」 (11:00)	正木
5日	月		

月日	曜日	県医師会行事・同関連行事	備考
6日	火	生涯研修セミナーシンポジスト打合会 「グランドホテル」 (19:00)	上田 田中
7日	水		
8日	木	第51回山口県講習衛生学会「総合保険会館」 (9:00)	
		山口県公衆衛生協会総会「総合保険会館」 (13:30)	
		自賠責医療委員会 (15:00)	
		山口県患者調査等作業部会 (16:00)	佐々木 井上 弘山
8~9日	木~金	全協理事長・役員研修会「箱根」	
9日	金	山口県運営適正化委員会苦情解決部会 「社会福祉会館」 (13:30)	佐々木
10日	土		
11日	日	参議院議員選挙投票日 山口県障害者水泳競技大会「美祿市温水プール」 (8:45)	
		研修セミナー (13:00)	
12日	月		
13日	火		
14日	水		
15日	木	医師国保組合組合・県医師連盟執行委員会 (15:00)	
16日	金		
17日	土		
17~22日	土~木	国保審査委員会	
18日	日		
19日	月祝	海の日	
20日	火		
21日	水	山口県介護保険研究大会実行委員会「社会福祉会館」 (13:30)	佐々木
22日	木	医事紛争対策委員会 (14:00)	
		地域医療計画委員会 (16:00)	
		第6会理事会 (17:30)	
23日	金		
24日	土	平成16年度中国四国医師国保組合連盟協議会「高松」 (15:00)	藤原 上田 木下 佐々木 田中
25日	日	朝日セミナー	
26日	月	山口県国保連合会介護給付費審査委員会 (13:30)	佐々木
27日	火	2004年総合防災訓練in山口打合会「県庁」 (13:30)	
28日	水		
29日	木	都道府県救急災害医療担当理事連絡協議会「日医」 (13:00)	佐々木 弘山
		健康教育委員会 (13:00)	
		情報システム委員会 (15:00)	
		個別指導「萩地区」 (15:00)	
		第4会常任理事会 (17:00)	
30日	金		
31日	土	生涯教育委員会 (15:00)	
31~8/1日	土~日	全国有床診療所協議会「札幌」	佐々木

## 連絡事項

受付		発送番号	通達文書名
月	日		
6	1	山医発188	交通事故医療に関する未解決事例の報告について
	3	山内医発4	「健康。長寿の10ヶ条」の募集について
		山医連発6	医政活動資金の交付について
	5	山医発197	平成16年度会費決定通知書について
		山医発200	郡市医師会長会議の開催について
		山福株式会社	配当金振込通知書
		山医発201	個人情報の保護に関する基本方針等について
	7	西島英利後援会	参議院議員選挙における政治活動と選挙運動
	8	周南いのちを考える会	会報第13号
		事務連絡	第34回山口県スポーツ医科学研究会出席者名簿の送付について
		事務連絡	郡市医師会長会議の開催について
		山医発204	診療報酬請求書等の編綴方法の変更について
	9	事務連絡(保38)	PSA精密測定に関する『Q&A』について
	10	宮崎秀樹	医師国会議員のつぶやき
		山医発214	シックハウス対策に関する医療機関への周知について
		山口県医師会	平成16年度診療報酬決定にかかる告示・通知等の一部訂正について
		山医発213	性同一障害者の性別の取り扱いの特例に関する法律第3条第2項に規定する医師の寝台書の記載要領について
		山医発212	平成16年度の医療法第25条第1項の規定に基づく立入検査の実施について
		山内医発6	第18回臨床内科医会一般演題募集延期についてお願い
	11	山口県医師連盟	参議院議員選挙対策の強化について
	12	山医発216	第88回山口県医師会生涯研修セミナー 平成16年度第3回日本医師会生涯教育講座 山口県エイズ対策研修会の開催について
			山口県救急医療情報システムの運用状況月報(H16.5月)について
		医療14-3	平成16年度定期総会議案書の送付について
		山口県労保連	個人情報の保護に関する基本方針などについて
	14	山口県労保連	平成16年度診療報酬改定にかかる告示・通知等の一部訂正について
		朝日新聞社	「朝日社会福祉賞」候補者推薦のお願い
		医師連盟	事務連絡
	15	山医発219	障害者の雇用の促進等に関する法律の一部を改定する法律の施行について
		山医発221	医療機関における医療防止の強化徹底について
		山口県医師会	第1回広域予防接種運営協議会資料の送付について
		山医発222	出水期における防災対策の強化について
	17	日本医師連盟	参議院議員選挙における政治活動と選挙運動
		日医連発19	医療制度改悪と医政活動の協力について
	18	日医発224	審査に関する意見・要望のとりまとめについて(依頼)
		事務連絡	通常組合開催について
		事務連絡	第87回山口県医学会総会・第58回山口県医師会総会 出席者名簿・参加証送付について
	21	防健375	「地域職域連携共同モデル事業方向書・防府管内地域職域連携保険事業計画(～働きざかり世代の健康づくりをめざして～“みんなが幸せ”)」について
		光福169	平成16年度第4会地域ケア会議のご案内
	22	事務連絡	「BCG接種-正しい接種技術と評価の方法-」CD-ROMについて
		山口県医師連盟	広報ツールの種類および使用方法
		山医発211	臨床研修病院支援システム設備事業の実施について
		事務連絡	がん健診に関する検討会中間報告書について

	山口県医師連盟	参議院議員選挙の期日前投票所について
		公式選挙用ポスター配布について
		第20回参議院議員比例代表選挙における歯科医師会との連携協力について
24	日本医師会	日本医師会市民公開講座「予防接種で感染症を防ごう」ビデオの送付について
	山医発236	第21回全国医師会共同利用施設総会の開催について
	山医発223	平成16年度健康診査料及び予防接種料調査について
	山医発238	平成16年度版会員名簿の配布について
28	山医発237	勤務医師名簿の作成について（ご依頼）
	山医発235	日本医師会生涯教育制度「認定書」取得者の県医師会ホームページ掲載について
	山医発239	咽頭結膜炎（プール熱）に関する対策について
	山医発242	平成16年度第1回広域予防接種運営協議会の結果について
29	徳看発29	平成17年度看護学生募集ポスターの掲示について（お願い）
	光市安全会議	平成16年度光市安全会議定期総会の開催について（ご案内）
	事務連絡	「介護保険における福祉用具の選定の判断基準について」送付について事務連絡
30	山医発375	「救急の日」及び「救急医療週間」の実施について

あ と が き

合計特殊出生率が 1.29（2003）！日本人はどんどん少なくなるのでしょうか？

死なないように、長生きするように、医学は貢献してきました。

もっと生まれるように、もっと強く生きれるように…医学はどのように貢献すればいいのでしょうか



発行所 光市医師会  
 TEL (0833) 72-2234  
 発行日 平成16年7月10日  
 発行者 河村康明  
 編集者 広報担当  
 印刷所 光市光井一丁目15番20号  
 中村印刷株式会社